

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

2,2'-メチレンビス(6-*tert*-ブチル)-*p*-クレゾールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

EDR 9 8 0 0 4

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : 2,2'-メチレンビス(6-*tert*-ブチル)-*p*-クレゾール
- 2) 曝露方法 : 半止水式（週3回の頻度で試験液の全量を交換）
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 曝露期間 : 21日間
- 5) 試験濃度 : 対照区, 助剤対照区, 0.10, 0.22, 0.46, 1.0 および 2.2 mg/L（公比 2.2、助剤濃度：50 μ L/L、助剤：ジメチルホルムアミド／硬化ひまし油（HCO-40）＝3:1（w/w）の混合溶液）
- 6) 試験液量 : 1 容器（連）につき 80mL
- 7) 連数 : 10容器（連）／試験区
- 8) 供試生物数 : 10頭／試験区（1 連に付き 1 頭）
- 9) 試験温度 : 20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照明 : 16時間明／8時間暗
- 11) 被験物質の分析 : GC-MS法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度： 0.046, 0.12, 0.34, 0.89 および 1.9mg/L (実測濃度)
0.10, 0.22, 0.46, 1.0 および 2.2mg/L (設定濃度)
設定濃度に対する割合が±20%を超えたため実測濃度を採用
- 2) 21日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)
： 1.0mg/L [95%信頼区間：0.71～1.4mg/L]
- 3) 21日間の50%繁殖阻害濃度 (EC50)
： 1.1mg/L
- 4) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC)： 0.34mg/L
- 5) 21日間の最小作用濃度 (LOEC)： 0.89mg/L
(上記濃度は、各影響濃度の算出に採用した実測濃度で表示)